

令和4年8月24日（水）

第8回定例教育委員会会議録

我孫子市教育委員会

1. 招集日時 令和4年8月24日(水)午後2時
2. 招集場所 教育委員会 大会議室
3. 出席委員 教育長 丸 智彦 委員 足立 俊弘
委員 蒲田 知子 委員 村松 弘康
委員 新山 訓代
4. 欠席委員 な し
5. 出席事務局職員
教育総務部長 飯田 秀勝 生涯学習部長 菊地 統
生涯学習部次長兼生涯学習センター長兼生涯学習課長兼公民館長 小林 裕
総務課長 森田 康宏 学校教育課長 鈴木 伸樹
指導課長兼小中一貫教育推進室長 佐々木祐子
教育相談センター所長 遠藤 美香 少年センター長 森谷 朋子
文化・スポーツ課長兼白樺文学館長兼杉村楚人冠記念館長 辻 史郎
鳥の博物館長 木下登志子 図書館長 穂村喜代子
6. 欠席事務局職員 な し

午後2時00分開会

○丸教育長 ただいまから令和4年第8回定例教育委員会を開会します。

会議録署名委員指名

○丸教育長 日程第1、我孫子市教育委員会会議規則第31条の規定により、会議録署名委員を指名します。蒲田委員にお願いします。

諸 報 告

○丸教育長 日程第2、諸報告を議題とします。事前に配付された事務報告、事務進行予定資料などに補足や追加する5点の事項について説明します。まず1点目、成人式の名称について、小林生涯学習部次長、お願いします。

○小林生涯学習部次長 7月24日に開催した令和5年我孫子市成人式（仮）第2回企画運営会議において、令和5年の成人式の名称について企画運営会議委員も含めて検討し、「二十歳（はたち）成人式」に決定しました。以上です。

○丸教育長 ありがとうございました。質問等ありましたらお願いします。
——よろしいですか。

続いて2点目、教育相談センターの所報について、遠藤教育相談センター所長お願いします。

○遠藤教育相談センター所長 9月は、子どもの自殺が急激に増える時期であり、文部科学省からも学校再開が子ども達にとって精神的な負担になっている可能性があるため、教育現場に対して対策を行うよう通知が出ています。教育相談センターでは、子どものサインに気づき、話を聞くなどの対応をして子どもの命を守れるように所報を作成し、2学期が始まる前に先生方に読んでいただくよう学校に配布します。

所報には、どうしたら子どもの話をうまく聞き出せるのか、どのような声かけ

がいいのかを3つの項目に分け、記載しました。

1つ目は、子どもの自殺を対策するためには、子どもからのサインに気づいて声をかけることが重要であるため、どのようなサインがあったときに声をかけるのかを参考として「児童生徒のサインチェック」を作成しました。

2つ目は、「サインや変化に気づいたら、指導ではなく、教育相談や支援を」ということで、悩んでいる子どもに対して指導するのではなく、命を守るために教育相談として話を聞くことを中心に声をかけるよう心がけることや、「死にたい」という言葉を安易に考えずに、重大なこととして受け取ってほしいと思います。子どもはアテンションを引くために嘘をついて、気を引きたがることもあります。子どもがサインを出したことが重要なので、嘘を解明しようとせず、まずは話を聞いて、正しい情報については後に先生達で確認して実態把握をするよう記載しました。

最後は、チームで対応することです。先ほど説明した、アテンションを引くために嘘をついたりする子どもは、一対一の関係を求めることが多く、一人の先生だけに頼ってしまう傾向があります。先生の負担や、その先生が異動した際に子どもが不安定になってしまう可能性が高いため、チームで対応することを記載しています。以上です。

○丸教育長 ありがとうございます。所報は、明日の校長会役員会で説明をし、9月1日までに学校の全職員が読んだ上で子ども達に接するよう配布していきます。質問等ありましたらお願いします。——よろしいですか。

3点目、2学期開始に向けての対応について、飯田教育総務部長お願いします。

○飯田教育総務部長 第2学期開始に向けての対応について、報告します。

千葉県では8月4日から8月31日まで「BA. 5対策強化宣言」により、基本的感染症対策や感染リスクを低減させる適切な対策の徹底により社会経済活動の維持と医療費の逼迫の回避の両立を図っているところですが、いまだコ

コロナ第7波の感染者数が高止まりしている状況です。夏休みに入ってから学校へ報告があったコロナに感染した児童生徒、教員等の数は8月23日時点で382件に上っています。現時点での令和4年度の児童生徒、教員等の感染者数は939人です。令和3年度は年間で798人の感染数だったため、オミクロン株の感染力の高さが伺えます。

感染者数が多い状況ですが、次の3つの事項を徹底して9月1日から第2学期を開始し、通常どおりの学校生活を維持していきます。

1つ目は、これまで行ってきた基本的な感染症対策の徹底です。学校生活において、密集、密接、密閉の「3密」の回避、マスクの適切な着用や手洗いなど、感染対策の徹底をするよう注意喚起します。また、マスクの着用については、換気を効果的に行いながら空調を使用し、熱中症の危険性から命を守ることを最優先に、状況に応じて適切に着用していきます。

2つ目は、体調不良時等は自宅での休養を徹底することです。児童生徒、教職員ともに体調不良時など自宅での休養を徹底するよう注意喚起します。

3つ目は、登校時の健康観察の徹底です。健康カードのチェックを教職員が確実にを行います。登校後に体調不良を訴えた場合は、保護者と連絡を取って、早退させるよう対応します。

次に、学校行事についてです。小学校の校外学習は、8月29日の1校を最初に5校の小学校が林間学校を実施します。また、修学旅行は9月以降に10校が予定しています。9月10日と17日には中学校で体育祭を予定しており、来賓招待はなしとしましたが、予定通り実施できるよう準備を進めていきます。○丸教育長 ありがとうございました。それでは、2学期開始に向けての対応について、質問等あればお願いします。——よろしいですか。

続いて4点目、中学生広島派遣事業の報告について、佐々木指導課長、お願いします。

○佐々木指導課長 8月5日から7日まで行われた我孫子市平和事業・中学生広島派遣について報告します。

出発前には、各校代表の派遣中学生12名や市長、教育長をはじめ参加者全員がPCR検査を行い、陰性の結果を受けて出発しました。

今年は3年ぶりの広島平和記念式典への参列が叶い、昨年度は新型コロナウイルスの影響により閉館していた平和記念資料館の見学もすることができ、感染症対策を講じながら各箇所で見学を行いました。

5日の午後到着後、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館と平和記念資料館を見学しました。6日は平和記念式典に参加し、その後、我孫子から持参した千羽鶴を奉納し、平和記念公園を巡りました。午後から本川小学校平和資料館、おりづるタワー、広島城を見学しました。7日は多聞院で8時15分に鐘の音を聴いた後に平和記念資料館を見学し、被爆体験講話を聴講しました。

子ども達はそれぞれの場所で戦争や核兵器の恐ろしさや平和の尊さについて目の当たりにし、一生懸命メモを取ったり写真を撮ったりしながら平和への考えを深めていました。

派遣後は、13日の我孫子平和祈念式典への参加や12月4日にけやきプラザで開催する平和の集いでの派遣報告、小学生へ広島・長崎派遣中学生リレー講座に講師として参加し、戦争や原爆の恐ろしさや平和の尊さについて次世代に伝えていく予定です。以上です。

○丸教育長 ありがとうございます。それでは、同行された蒲田委員から、感想をお願いします。

○蒲田委員 広島派遣中の食事の際に中学生達が黙食を徹底する姿勢から普段の学校生活からきちんと指導されていることがわかり、立派な姿を見ることができました。また、資料館での見学では、中学生達は瓦礫や人々の被害の様子を資料を中心に見ていましたが、次第に他人ごとではなく自分のことのように

考えながら見学や講話を聞いている姿を見て、生徒一人ひとりの成長を感じることができました。ありがとうございました。

○丸教育長 ありがとうございました。村松委員、お願いします。

○村松委員 私も同行させていただき、中学2年生の3日間の成長を目の当たりにしました。初日の夜に行った反省会での子ども達の発表も立派でしたが、2日目は一步ステップアップした内容の発表をされていて感動しました。また、団長や副団長をはじめとした生徒全員が自分の役割を理解し、何をすべきかを自問自答しながら行動する姿にも驚きました。改めて中学生広島派遣は本当に素晴らしい事業だと感じました。ありがとうございました。

○丸教育長 ありがとうございました。

最後に、小中学生の部活動の全国大会、関東大会の出場結果報告について、佐々木指導課長、お願いします。

○佐々木指導課長 今年の夏も全学校の部活動が、コロナ禍の中、感染症対策を講じた上で大会に向けて工夫して練習に取り組みました。その中で、全国大会、関東大会に進んだ児童生徒について報告します。

まず、全国大会です。全国大会には3人の選手が出場しました。新木小学校の6年生、松本隼さんが全国小学生陸上競技交流大会において、走り高跳びと80メートルハードルの2種目を行うコンバインドAという競技で11位となりました。続いて、我孫子中学校の3年生、青嶋柚香さんが全国中学校水泳競技大会において、200m自由形予選に出場しました。続いて、布佐中学校3年生、石井琉之介さんが全日本中学校陸上競技選手権大会において、男子共通1500m予選に出場しました。

続いて、関東大会です。関東大会には2団体と5名の選手が出場しました。我孫子中学校3年生、揚石蒼良さんが関東中学校水泳競技大会において、100mバタフライと200mバタフライの予選に出場しました。久寺家中学校3

年生、松本大成さんが同じく関東中学校水泳競技大会において、200m自由形で11位、400m自由形で19位となりました。続いて、湖北台中学校2年生、卓球部の若林寿音さんがシングルで3回戦に出場し、ベスト32となりました。続いて、白山中学校2年生、卓球部の池田響一さんシングルで2回戦に出場、3年生の遠藤博志さんが3回戦に出場し、ベスト32となりました。また、団体でベスト8という結果を残しました。また、新木小学校の吹奏楽部が千葉県吹奏楽コンクールで金賞を受賞し、9月11日に茨城県水戸市で開催される東関東吹奏楽コンクールに出場します。以上です。

○丸教育長 ありがとうございます。前学校教育課長が代表を務めるアビコ・ユナイテッドに所属する我孫子第三小学校の児童も千葉県小学生陸上競技交流大会のコンバインドBにおいて1位となり、全国小学生陸上競技交流大会で25位という結果を残しています。また、久寺家中学校と湖北中学校の吹奏楽部が出場した、千葉県吹奏楽コンクールを聴いてきましたが、とても素晴らしい演奏をしていました。

それでは、これから事務報告に対する質疑に入ります。質疑があれば挙手をお願いします。——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。事務報告に対する質疑を打ち切ります。

次に、事務進行予定について質疑があれば挙手をお願いします。

○蒲田委員 鳥の博物館に行った際、鳥の骨を3Dデータ化した資料をホームページに掲載していることや、インスタグラムで収蔵標本が360度回転する動画を見ることができる「トリコレ」を公開していることを知り、直接鳥の博物館で剥製や本物の鳥の骨を見ることができるとともに、ネットを通じて鳥の様々な資料を発信していくことはとても良い取り組みだと思いました。データの掲載などの業務は学芸員の負担にはなっていないでしょうか。

○木下鳥の博物館長 「トリコレ」は、北海道大学がコロナ禍で博物館が閉館

した時、ネットを活用して情報提供しようという呼びかけに鳥の博物館も参加してデータ公開を始めた経緯があります。また、3Dデータの公開については、当初3Dプリンターで作成した模型を学校の授業で活用してもらう予定でしたが、新型コロナの影響により学校で活用することが難しくなったため、デジタルデータをホームページ上で公開できるよう進め、現在はカルガモとスズメとフクロウを公開しています。デジタルデータを掲載する業務自体はそこまで負担ではないと担当者から聞いていますので、今後も様々な方法で多くの方に見ていただけるよう情報発信をしていきたいと思えます。以上です。

○蒲田委員 ありがとうございます。私は鳥の顔の3Dデータを見ましたが、鳥の特性ごとに違いが分かりやすく、このようなデータをホームページ上に公開することで子どもだけでなく大人も楽しむことができ、勉強になると思えます。今後もよろしくお願ひします。

○木下鳥の博物館長 ありがとうございます。今回学芸員の発案により、360度回転して見ることが出来るデータを掲載しました。鳥の特性や違いがよくわかる資料なので、ぜひ多くの方に知っていただけるようPRしていきたいと思えます。ありがとうございます。

○丸教育長 ありがとうございます。他によろしいですか。

それでは、ないものと認めます。事務進行予定に対する質疑を打ち切ります。

次に、教育事業全般について質疑があれば挙手をお願いします。——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。以上で諸報告に対する質疑を打ち切ります。

○丸教育長 以上をもちまして令和4年第8回定例教育委員会を終了します。お疲れさまでした。

午後2時25分閉会